

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ げきだんぼぶら		団体ウェブサイトURL
	株式会社 劇団ポプラ		office@poplar21.jp
代表者職・氏名	代表取締役 渡邊 雅之		
制作団体所在地	〒 105-0004	最寄り駅(バス停)	新橋駅
	東京都港区新橋6-9-4 新橋6丁目ビル7F		
電話番号	03-5405-0966		
ふりがな 公演団体名	げきだんぼぶら		団体ウェブサイトURL
	劇団 ポプラ		office@poplar21.jp
代表者職・氏名	劇団長 渡邊 雅之		
公演団体所在地	〒 206-0822	最寄り駅(バス停)	稲城駅
	東京都稲城市坂浜136-3		
制作団体 設立年月	1978年8月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 渡邊 雅之 相談役 町永 義男 部長 植木 悟 次長 藤波 俊諭	代表1名 制作部6名 俳優部28名 事務員2名 研究生 10名 演出部 6名 俳優は演技、歌、ダンス等オーディションで合格した後、面接で決定。付属養成所にて2年間の養成を経て劇団ツアーキャストとして参加	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	植木 悟
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	和智 利恵子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	office@poplar21.jp		

制作団体沿革	別添1			
学校等における公演実績	<p>創立以来、全国の小・中・高校で学校公演を実施 北海道から沖縄まで年間300ステージ 2011年から2019年,2021年文化庁公演 ミュージカル「オズの魔法使い」巡演 2020年、2022年、2023年 文化庁公演 ミュージカル「シンドバットの冒険」巡演 年間300ステージの内260回は学校公演</p> <p>《 過去上演演目 》 「イワンの馬鹿」「泣いた赤鬼」「雪はチクタク」「さよならトンキー」「チキチキバンバン」「赤毛のアン」 「山椒大夫」「大どろぼうホッツェンプロッツ」「チョコレート戦争」「尾崎 豊 心の景観」「火垂るの墓」 「リューシストラテール・この町で」「赤い日々の記憶」「とべないホテル」</p> <p>《 現在上演作品 》 「オズの魔法使い」「ピーターパンとウェンディ」「シンドバットの冒険」「宝島」「海底2万マイル」</p>			
特別支援学校等における公演実績	札幌私立豊成支援学校			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有		
	※公開資料有の場合URL	office@poplar21.jp		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団 ポプラ 】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	歌って踊ってミュージカル体験			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	本公演演目：ミュージカル「シンドバットの大冒険」 原作：アラビアンナイトより 作曲：本間 裕治 脚本・演出：木島 恭 振付：もたい清美			
	公演時間 90 分			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	別添(2)			
演目選択理由	<p>船乗りシンドバットのお話は「アラビアンナイト」の挿話として誰もが知っているお話で世界中で愛され親しまれています。ペルシャ湾からインド洋を舞台にした冒険物語は、主人公の「シンドバット」が仲間を信じ「勇気」を持って困難に立ち向かう事の大切さ、大変さ、そして素晴らしさを教えてください。夢や希望を叶えるために「冒険する心」「挑戦する心」を持って欲しいとの思いが込められています。アラブの国という異世界での冒険ではありますが、文化の違いを認め、グローバル化する現代社会に生きるこれからの世代にも通じるに違いありません。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>ミュージカルの楽しさを体験していただくために、ワークショップに参加していただいた児童・生徒さんには公演当日に歌・演技・ダンスが充分楽しめるテーマ曲「冒険の旅」と「出発」の曲でオープニングとエンディング(カーテンコール)の場面に参加していただきます。別添(3)参照</p>			
出演者	<p>シンドバット/新田 慎之介 サイード/照井 紀子 ラシード船長/丸田 敏史 アブラーシャ/東 絵美莉 ターリヤ/折原 智子 トーフア/長南 美優 サーシャ/福田 小雪 アブダラ/小野 太一 村長/森本 勝人 ブシュナン/為谷 啓介 カシム/佐々木 進悟</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者： 11 名	運搬	積載量： 4 t	
	スタッフ： 4 名		車 長： 9 m	
	合 計： 15 名		台 数： 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7:50	8:00～11:00(リハ11:00～12:00)	13:30～15:00	10分	15:00～17:00	17時00分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。					
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	5日		15日	10日	
	11月	12月	1月	計	65日	
	10日	5日	10日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安	100名程度まで		
			鑑賞人数目安	500名程度まで		



ダイヤモンドの島を守るロック鳥



体育館のフロアを動き回る巨大な船

公演に係るビジュアル
イメージ
(舞台の規模や演出が
わかる写真)

※採択決定後、図
面等の提出をお願い
します。

【公演団体名 劇団 ポプラ 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	制限なし(本公演の参加形態を相談)
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>パターン① 本公演に出演する児童・生徒さんのみの参加 パターン② クラス単位、学年単位での参加 パターン③ 全校児童・生徒さんの参加 *②③をご希望の場合は本公演の参加シーンを相談 (別添4参照)</p>  <p>舞台参加者用のペールの説明をします</p>  <p>柔軟で体をアップします</p>  <p>リズムに乗って振付</p>	 <p>気分はもうアラビアンナイトの世界です</p>  <p>譜面に沿って歌唱指導を行います</p>  <p>ステージング風景</p>  <p>本公演でのリハーサル風景</p>	
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>ミュージカルは、芝居上の必然性の上に歌やダンスがあります。その歌やダンスは言葉の大切さ、伝える事の大切さから生まれた意思表示の方法とも言えます。感情を歌やダンスで表現する事でより一層劇空間に広がり生まれます。演技、歌、ダンスをレッスンし、自らが出演者として体験する事で、本公演への興味や期待感が高まり想像力と自己表現力が増す事でしょう。劇団の俳優達との共同作業としての演劇を体験する事で、コミュニケーション能力がアップし、メッセージを伝える自信が持てると思います。これは、ワークショップで学ぶ内容が演劇の知識や技術だけではなく、成長過程にある児童・生徒さんの「こころ」に多大な影響を与えるからに他ならないと思います。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>ワークショップの人数制限は設けておりません。多くの児童・生徒の皆さんにミュージカルの楽しさを体験していただければと思います。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名

劇団 ポプラ

】

①本事業に対する取り組み姿勢

主役は児童・生徒のみなさんです。自分達がプロの劇団の俳優と一緒に舞台に立つ、という日常の学校授業では決してあり得ない事が本事業にはあります。本公演に向けてワークショップで学んだ歌、ダンス、そしてコンビネーションのある動きを繰り返し練習する事で、お互いを意識しながら一つの目標に向かい、舞台に立つ事の素晴らしさを体験していただきます。

これは、観客に伝える事の大切さ、喜び、そして達成感を持つ事が出来るからに間違いありません。自分以外の誰かを意識し、対象となる人物(役の人物)にメッセージを届ける作業をお客様に観ていただくのが、劇という総合芸術だと思います。

一方、観客は対象となる人物(役の人物)に自身を投影したり、客観視したりします。舞台上で表現をする児童・生徒さんを通し、観客もまた観る楽しさが実感できると確信致します。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

劇団と学校はワークショップで始めて顔を合わせる事が殆どではないでしょうか。そこで、限られた日程と時間の中で、効率よくワークショップと本公演が出来るように、制作で留意している点として

- 先生方にご負担をかけないように事前資料を解りやすく作成し児童・生徒さんがワークショップに積極的に参加できるようにする。
- 歌唱指導では正確な音取りに終始するのではなくシーンごとシチュエーションを大切に、子供達の感性に伝えるようにする。
- 掛け合いの歌などは身体表現などを行いながらコミュニケーションを取る楽しさを学ぶ。
- 声質、音域などを確認しながらコーラスにも挑戦する。
- 振り付けを行うに際しては、休符やリズムの取り方などを徹底して練習し、子ども達が楽しんで表現できるようにします。
- ステージングとしては、出演していただく児童・生徒さん達が一度は舞台の最前列になるように工夫しています。
- 出演の希望人数が多い場合でも、充分対応できるように演出がプランニングしてある。(学年単位では舞台面だけではなくフロアを使用するなど)
- 学校の舞台という制約が大きい環境の中で、鑑賞していただく児童・生徒の皆さんたちがより一層想像力を働かせ、劇場空間が味わえるように企画しました。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

リンク先	No.1	【公演団体名	劇団 ポプラ 】
劇団沿革		<p>劇団沿革 1978年劇団ポプラ設立～『イワンの馬鹿』旗揚げ公演『泣いた赤鬼』全国巡演 『雪はチクタク』全国巡演 1983年法人設立 付属養成所設立 『さよならトンキー』全国巡演 1986年全国児童・青少年演劇協議会加盟 1987年日本児童・青少年演劇協会加盟 1988年「チキチキ・バンバン」全国巡回公演 1992年ミュージカル「赤毛のアン」全国巡演 1993年ミュージカル「シンドバットの冒険」 ミュージカル「ピーターパンとウェンディ」全国巡演 2000年ミュージカル『ユタと不思議な仲間たち』文化庁児童・青少年優秀舞台全国巡演 2000年「山椒大夫」中学・高校全国巡演 文化庁助成公演ミュージカル「とべないホテル」 2004年「大どろぼうホッツェンプロッツ」文化庁・新進芸術家公演 2007年「三年寝太郎物語」全国巡演 文化庁 助成公演 2009年ミュージカル「火垂るの墓」全国巡演 ミュージカル「尾崎豊心の景観」芸術文化振興基金助成 2011年文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」 ミュージカル「オズの魔法使い」 芸術文化振興基金助成「高校・中学生のための巡回公演」ミュージカル「火垂るの墓」 2012年～文化庁「次代を担う子どもの文化芸術公演」～2018年「文化芸術による子供の育成事業」 2015～年ミュージカル「赤い日の記憶」 ミュージカル『チョコレート戦争』全国巡回公演事業 2018年ミュージカル「宝島」全国巡回、文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 2019年文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」ミュージカル「オズの魔法使い」 2020年ミュージカル「海底2万マイル」全国巡演開始 文化庁「文化芸術による子供鑑賞総合事業」ミュージカル「シンドバットの冒険」 文化庁「子供のための文化芸術機会の創出事業」ミュージカル「オズの魔法使い」 文化庁「子供のための文化芸術・体験支援事業」ミュージカル「ピーターパンとウェンディ」 2021年文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」ミュージカル「オズの魔法使い」 2022年文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」ミュージカル「シンドバットの冒険」 令和3年度補正事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」 ミュージカル「ピーターパンとウェンディ」 2023年文化庁「舞台芸術等総合支援事業」(巡回公演事業)ミュージカル「シンドバットの冒険」 文化庁アートキャラバン2 ミュージカル「オズの魔法使い」「ピーターパンとウェンディ」</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団 ポプラ】				
演目概要	<p>今日はシンドバットの初航海の日。バグダットの人々に見送られ、船乗りたちは青い海へと出航します。明るい陽の光とさわやかな風に見守られ船は順調に航行します。ところが、今日も一日穏やかに過ぎたと思われたある夜、突然海が荒れ始め、大きな嵐に襲われてしまいます。船乗りたちは次々と投げ出され海の中へ…。シンドバットが流れ着いたのは、巨大なロック鳥が住む伝説のダイヤモンドの島でした。シンドバットはダイヤモンドをかき集め、ロック鳥の足につかまり島を脱出します。そして、降り立った所は盗賊の存在に怯えて暮らす小さな村でした。その村で待っていたものは…。 ミュージカル「シンドバットの大冒険」は初演(1993年)から3,000回を超える公演実績があります。 体育館を所狭しと動く大きな船は圧巻です。公演した学校からは「どうやって動いているのか教えて欲しい。」などの声が寄せられています。また、楽曲は壮大なスケール感溢れる曲にアレンジされており、テーマ曲「冒険の旅」は終演までに覚えてしまう程ノリが良く創られています。さあ、シンドバット達と一緒に勇気を持って大海原を翔る船に乗りましょう。</p>	 <p>さあ、いよいよ冒険の始まりだ 勇気を持って出掛けよう！</p>	 <p>バグダット人たちに見送られ出港</p>	 <p>ダイヤモンドの島を目指す船</p>	 <p>大きな嵐に巻き込まれる船乗り達</p>	 <p>盗賊たちに襲われる村人達</p>	 <p>流れ着いた島を脱出</p>  <p>シンドバットは盗賊に怯えての人々を助ける事が出来るでしょうか</p>

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団 ポプラ	】
------	------	--------	--------	---

オープニング曲「冒険の旅」「出発」での出演



*ワークショップで
事前練習をおこな
います。(歌唱指導。
振付、ステージン
グ)



安全な航海で無事に帰っ
て来れるように船を見送
ります

*お芝居にも参加し
ていただきます



寄港したシンドバット
達を迎えます



カーテンコール
出演者全員で「冒険
の旅」を大合唱しま
す

ワークショップの実施形
態及び内容